

新城市民病院研修を終えて

名古屋第一赤十字病院 研修医 2年

あっという間に 4 週間がたち、新城市民病院での研修を終えることとなりました。この 4 週間で、多くの先生方にお世話になり、様々なことを教えて頂きましたが、特に私の中では以下の 3 つの事が心に残っています。

1 つ目は、問診、身体診察、の大切さです。

私が普段勤務している名古屋第一赤十字病院では、今まで自分が診断に悩んだ際に盲目的に CT や MRI、血液検査を行い、結果的に異常所見や異常値が見つかり、何とか診断に結びつくというケースが多々ありました。

しかし、当院では、病歴に対する詳細な問診で鑑別診断を掲げ、それを確定診断にするべく必要な検査を行うという場面がいくつもありました。

その為必要最低限の検査で済み、診断に掛かる時間や患者さんの身体負担、さらには医療費すらも軽減・削減することが出来ると実感し、如何に問診で鑑別を挙げ、身体所見の結果から診断を絞り込んでいくことが出来るかが大切かを学びました。

2 つ目は、自分が診た患者さんの振り返りの大切さです。

普段自分が救急外来にて対応した患者については、その場を乗り切ることが精一杯で、入院後どのような転帰をたどったのか、帰宅し経過観察となっても、後日の外来受診で本当に大きな異常がなかったのかをしっかりと追跡が出来ないことも多々ありました。

一方当院ではその日の終わりに初診で来られた患者さんたちの主訴、病歴、検査結果、治療方針を先生方とディスカッションしながら振り返り、自分の診察の良い点、足りなかった点をフィードバックすることが出来ました。このフィードバックの習慣は今後も続けて行くことを決心しました。

そして 3 つ目は、病院全体の雰囲気、職員の方々の話しやすさです。

当院に来たのは初めてであったのにもかかわらず、医師を始め看護師さん、技師さん、理学療法士さん、作業療法士さん、事務さんと、非常に暖かく迎え入れてくれました。だからこそ、非常に楽しく学び、勤務をすることが出来ました。

先生方もお忙しい中、各症例ベースで様々な知識、身体所見の取り方、問診のコツを教えてください、非常に密度の濃い 4 週間を送ることが出来ました。

名古屋に帰っても、新城病院で学んだことを生かしつつ、苦手な領域を作らない、より良い医師となれるように尽力して参ります。

4 週間とても楽しかったです。本当にありがとうございました。